



あやめ原こども園

令和3年11月

秋も深まり、朝夕は冷え込む季節になりました。日ごとに日暮れも早くなり、秋から冬に移り変わることを感じさせます。

それでも日中は暖かく、秋晴れの中、園庭で元気いっぱい遊んでいる子ども達です。季節の変わり目は子ども達や大人も風邪をひきやすくなりますので、みんなで予防をしながら、元気に乗り切っていきましょう。

保育目標

- ★季節の変化や活動量に応じた環境保健に留意し、快適に過ごせるようにする。
- ★身近な人々や自然に親しみ、遊びを深める。

☆お願い・お知らせ☆

- カンパ・署名のご協力をありがとうございました。
カンパ金は、19,800円でした。たくさんのご協力をありがとうございました。
- 19日(金)は、お弁当の日です。4・5歳児は観劇に行きます。
詳しくは後日、別紙にてお知らせします。
- 22日(月) おゆうぎ会のリハーサル(1回目)
30日(火) おゆうぎ会ビデオリハーサル
8時30分までに登園をお願いします。詳しくは別紙にてお知らせします。
- 来年度の現況届の書類提出について
・日付は提出日の日付です。
・就労証明・申請書を揃えて提出してください。
※11月1日(月)からの提出受付になります。
よろしくをお願いします。
- 11月は体操教室が1回あります。(11日)英語教室が7回あります。

(2・9・16・18・22・25・30)

日	曜	行事予定
1	月	
2	火	英語教室
3	水	文化の日
4	木	エコチャレンジ 「木の実クラフト」
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	英語教室
10	水	
11	木	体操教室
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	英語教室
17	水	誕生会
18	木	英語教室
19	金	観劇(4・5歳児) お弁当の日
20	土	
21	日	
22	月	英語教室 リハーサル(1回目)
23	火	勤労感謝の日
24	水	
25	木	英語教室
26	金	東小フェスティバル
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	英語教室 ビデオリハーサル お便り配布



～ よい行動は、親が身をもって示す
してほしくない事は、親もしない ～



新潟県出身の山本五十六さんは、人材育成の様々な格言を残しています。特に、「やってみせ、説いて聞かせて、やらせてみ、讀めてやらねば、人は動かぬ」という言葉は、子どもに、物事を教える時に大切な事を簡潔に示しています。

①「やってみせ」～まず大人がやってみせる

まず、子どもに何か教える時には大人がやってみせることが大切です。正しい行動を身につけてもらいたい時に一番有効なのが「親が身をもって示すこと」です。

親が、子どもにしてほしいと思う事を親自身が普段から子どもの前でしていく。してほしくないことは、親がしないようにすること。

子どもは、大人の良いことも悪いこともそのまま真似ていきます。

「子は親の鏡」といわれるのはその為なのです。

②「説いて聞かせて」～子どもに言って聞かせる

やってみせた後に、大切なことは言葉で説明することです。

納得いかないことを「やりなさい」と言われても、出来ない事も多く、続けるのは難しい。逆に心から納得した事はこれからもしようと思えます。子どもにこの世は、理屈が通っており、ルールがあるんだという事を教えていくのです。それがまた、自分や周囲に対する信頼に繋がっていきます。

③「やらせてみ」～子どもにさせてみる

私たちは、言ったらそれで出来るものだと思ってしまいます。しかし、言って聞かせても、おそらく子どもは1割も理解していません。

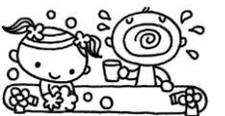
それをちゃんと伝える為に大切なのが、

子どもに「させてみる」＝「練習してみる」ということです。

(例)「ご飯の前にはちゃんと手を洗いなさい」



手をどのように洗うのか?



◎大人がまずやってみせて、子どもにも同じことをさせてみる。

⇒そして、出来たら褒めるのです。

そうすると・・・次からどうすればいいのかははっきり分かります。

子どもに、目の前でさせてみる事が大切です。

④「讀めてやらねば人は動かぬ」～出来たらほめる

叱られるより、褒められる方が、はるかに身に付き、モチベーションも上がります。

※大切なのは、

＜大人がやってみせる → 言って聞かせる

→ させてみる → 出来たらほめる＞というサイクルです。

最も子どもが早くよい行動を身につける有効なパターンなのです。

「子育てハッピーアドバイス」より